

《事業者向け》放課後等デイサービス自己評価表【集計結果】

事業所名：立川らびっとくらぶ

評価日：平成30年1月

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			1日の定員10名に対し、活動室は東京都規程による40㎡を確保しています。 (児童1名当たり4㎡)
	2 職員の配置数は適切であるか	○			活動時間内は常勤3名・パート職員5名を週5日の活動日に配置しており、「児童10名に対し、指導員2名」という規定を超えた加配をしております。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			出入口、フロアにスロープを設置し、トイレ（2ヶ所）に手すりを設置しています。また視覚情報の軽減という視点から、掲示物などが乱雑にならないように注意しています。
業務改善	4 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎月テーマを決めて、週1回の全体ミーティングで話し合いやミニ研修会をおこなっています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			平成30年1月に実施しました。今後も年1回を目安に実施する予定です。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			平成29年7月以降、らびっとくらぶの公式ホームページ内で公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	適切な形態（透明性のあるもの）で有効性のある形であれば、取り入れるつもりですが、現在は予定していません。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			週1回の内部ミーティングを開いています。さらに都主催の研修や、関係機関の研修受講の機会を設けています。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個人面談は必ず複数で対応し、計画作成の際にも担当者間での話し合いを経て作成しています。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			療育機関による評価をもとに、発達状況と適応状態を把握し独自のアセスメントシートを活用しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			常勤・パート職員を問わず、全員で意見交換をし、季節や発達段階に合わせた活動内容を立てています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			曜日や児童に偏りがないよう月ごとに活動を計画しています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			放課後と長期休みで児童の体力や興味を勘案し、立案しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			興味と学齢に応じた活動内容を想定し、支援計画を立て、保護者への説明をおこなっています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に30分程度の打ち合わせをしています。前回の状況や送迎時間、体調の情報を共有して、活動中の支援の役割を確認しています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			活動日誌に記入し、全体で共有できるようにしています。活動後でも必要に応じて保護者への連絡をしています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			活動日誌、個別記録を複数の担当者が記入しています。また定期的に個別記録を読み合わせ、支援の内容について情報共有しています。
18 定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			最低でも1年に2回（6ヶ月毎）保護者の方と面談をおこない、必要に応じて個別支援計画を見直しています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			単年度の事業計画を立て、ガイドラインを職員間で閲覧・参照できるようにしています。	
追加	20 発達段階に合わせた遊具や教材の提供をしているか	○			学校や家庭での様子を聞きながら、子ども自身の興味や発達段階をアセスメントし、画一化しないよう遊具などを提供しています。

《事業者向け》放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			必ず児童発達支援管理責任者を含め複数で参加するようにしています。
	22 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			連絡帳、送迎時、電話、FAX、メールを活用した連絡方法をとり、必要な連絡はすべておこなっています。
	23 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	昨年度に続き医療的ケアが必要な児童は受け入れていません。
	24 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		必要に応じて訪問や面談をおこなうこともありましたが、児童の学年が上がってくると機会は減っています。
	25 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			現在までに卒業児童がいませんが、おこなう予定です。
	26 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			施設公開や説明会には可能な限り参加をし、担当者との連携に努めています。
	27 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		計画的におこなう性質のものとは捉えていませんので、近隣の公園などで自然な交流を心がけています。
	28 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			定期的な連絡会に限らず、必要な場合は個別に関係団体などに連絡をし、連携に努めています。
	29 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者の要望に応じて、他のサービス事業者とも積極的に連携をとっています。
	30 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			他福祉サービスの説明や申請手順、児童の環境整備などの相談に応じ、必要に応じて外部研修や書籍の紹介をしております。
追加	31 学校教員と話し合いの場を設けているか	○			保護者からの要請で参加する場合があります。また必要性に応じてらびつとくらぶから呼びかけをすることもあります。
保護者への説明責任等	32 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			当事業所の説明はもちろんですが、広く他サービスの説明もおこなっています。
	33 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			利用児童だけではなく兄弟・姉妹の関係についても適宜相談に応じています。
	34 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		全体ではおこなっていませんが、個別の要望に応じて連携を取れるようにしています。
	35 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			支援や活動の内容についての疑問点や不明点に対しては、すべて責任者が迅速に対応するようにしています。
	36 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			子ども向けに月に1回「らびつとくらぶ通信」を発行しています。保護者に対しては必要に応じて書面でお知らせをしています。
	37 個人情報に十分注意しているか	○			全職員から「個人情報の取り扱いについての誓約書」を取っています。また日頃より個人情報の取り扱いについて注意喚起をしています。
	38 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			合理的配慮を心がけ、必要にして十分な配慮をするようにしています。
	39 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			利用児童に影響のない範囲では見学を受け入れていています。活動中の見学は人数制限を設けています。
追加	40 保護者への連絡方法を工夫しているか	○			保護者の状況や家庭環境、就労状況により電話やメールでの連絡を活用し、早い対応を心がけています。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		防犯マニュアルについてはまだ整っていません。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に1回の避難訓練をしていますが、児童への影響を考え、公園への避難誘導と説明のみとしています。
	43 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に虐待についての討議の機会を設け、種類や程度についての周知をしています。
	44 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			どのような形であれ身体拘束、隔離などの対応はいたしません。
	45 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			原則として医師の診断に基づいた保護者からの申し出により対応しております。
	46 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			定期的にテーマを決めて、日常的な事例から事故の可能性を話し合っています。